

平成29年12月分 中部空港 貿易概況（速報）

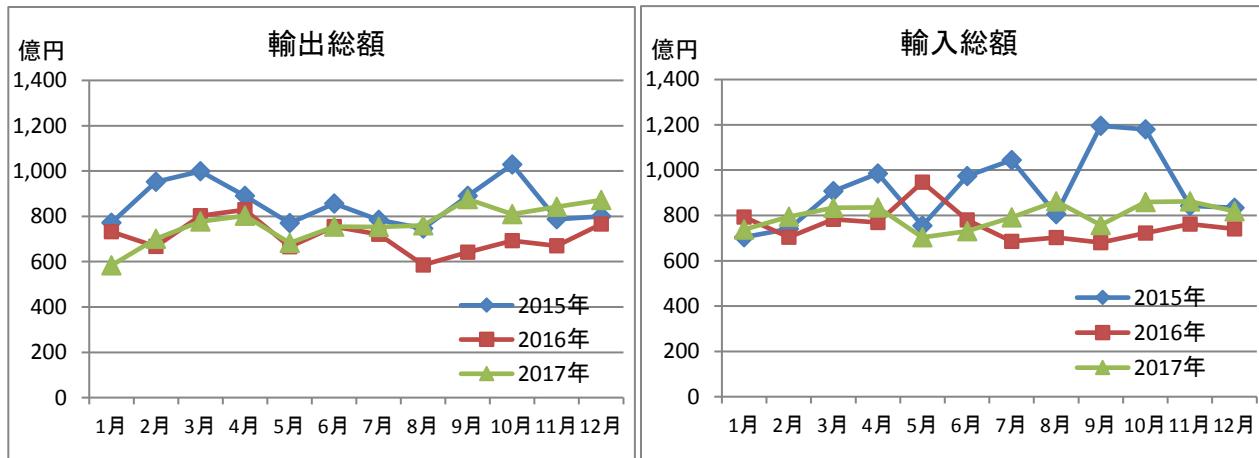
対前年同月比で、輸出は8カ月連続の増加、輸入は6カ月連続の増加

1. 概要

輸出については、「医薬品」、「事務用機器」などは減少したものの、「電気計測機器」、「自動車の部分品」、「自動車用等の電気機器」などが増加した結果、輸出総額871億円となり対前年同月比で8カ月連続の増加となった。

輸入については、「半導体等電子部品」、「魚介類及び同調製品」などは減少したものの、「有機化合物」、「科学光学機器」、「重電機器」などが増加した結果、輸入総額818億円となり対前年同月比で6カ月連続の増加となった。

区分	金額	前年同月比	推移（対前年同月比）
輸出	871 億円	113.8 %	8カ月連続の増加
輸入	818 億円	110.5 %	6カ月連続の増加



2. 主要増減品目別動向

【輸出】

	品目	金額	前年同月比	寄与度
増加	1. 電気計測機器	: 77 億円	139.1 %	+ 2.8
	2. 自動車の部分品	: 49 億円	167.4 %	+ 2.6
	3. 自動車用等の電気機器	: 25 億円	3.5倍	+ 2.3
減少	1. 医薬品	: 12 億円	42.8 %	▲ 2.0
	2. 事務用機器	: 16 億円	80.0 %	▲ 0.5

【輸入】

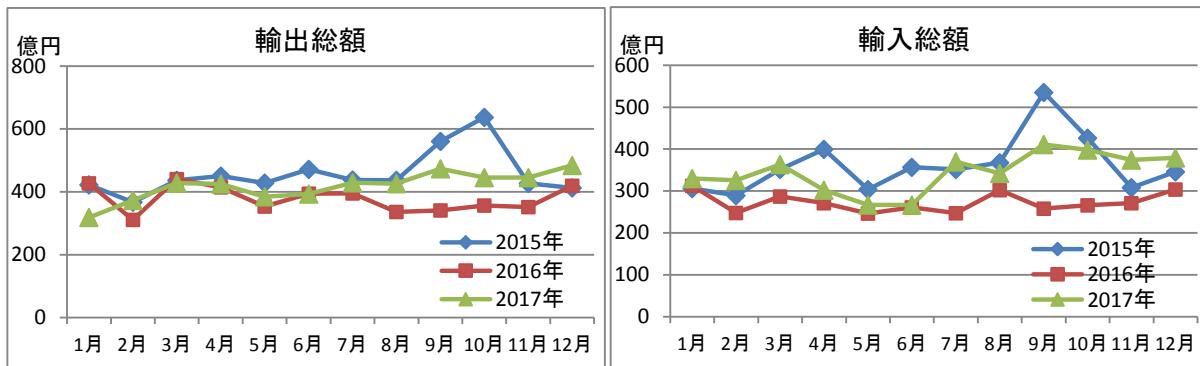
	品目	金額	前年同月比	寄与度
増加	1. 有機化合物	: 80 億円	7.6倍	+ 9.4
	2. 科学光学機器	: 28 億円	136.8 %	+ 1.0
	3. 重電機器	: 12 億円	183.1 %	+ 0.7
減少	1. 半導体等電子部品	: 65 億円	77.1 %	▲ 2.6
	2. 魚介類及び同調製品	: 6 億円	29.2 %	▲ 1.8

《参考》ドルレートは、112.48 円/ドル（前年同月比 0.7 %、0.83 円の円高）

3. 主要地域（国）別動向

(1) アジア

区分	金額	前年同月比	推移（対前年同月比）
輸出	484 億円	115.5 %	6カ月連続の増加
輸入	379 億円	124.7 %	12カ月連続の増加



【輸出】

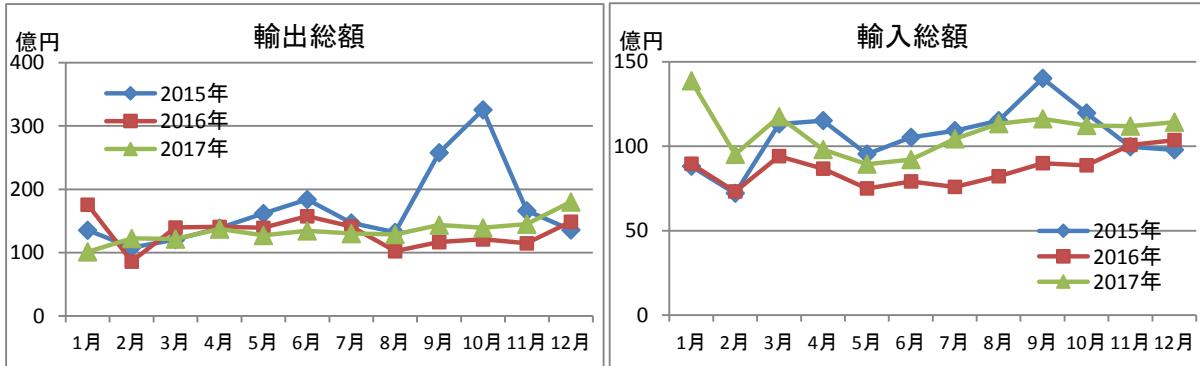
	品目	金額	前年同月比	寄与度
増加	1. 自動車の部分品	: 18 億円	2.9倍	+ 2.8
	2. 電気回路等の機器	: 50 億円	120.6 %	+ 2.0
	3. 半導体等電子部品	: 65 億円	110.1 %	+ 1.4
減少	1. 医薬品	: 6 億円	23.8 %	▲ 4.5
	2. 事務用機器	: 9 億円	72.2 %	▲ 0.8

【輸入】

	品目	金額	前年同月比	寄与度
増加	1. 有機化合物	: 64 億円	25.6倍	+ 20.3
	2. 電気計測機器	: 11 億円	2.8倍	+ 2.3
	3. 科学光学機器	: 18 億円	132.5 %	+ 1.5
減少	1. 半導体等電子部品	: 52 億円	72.8 %	▲ 6.4
	2. 魚介類及び同調製品	: 3 億円	17.0 %	▲ 4.6

(2) 中国

区分	金額	前年同月比	推移（対前年同月比）
輸出	180 億円	121.0 %	5カ月連続の増加
輸入	114 億円	110.4 %	14カ月連続の増加



【輸出】

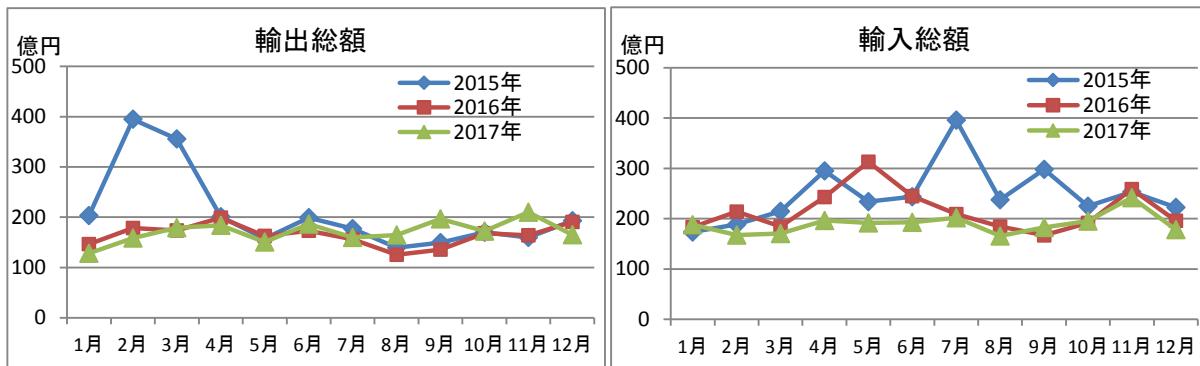
	品目	金額	前年同月比	寄与度
増加	1. 自動車の部分品	: 15 億円	3.6倍	+ 7.1
	2. 電気回路等の機器	: 25 億円	135.0 %	+ 4.4
	3. 科学光学機器	: 7 億円	2.2倍	+ 2.5
減少	1. 医薬品	: 2 億円	10.5 %	▲ 12.6
	2. 事務用機器	: 2 億円	35.8 %	▲ 1.9

【輸入】

	品目	金額	前年同月比	寄与度
増加	1. 科学光学機器	: 10 億円	139.7 %	+ 2.6
	2. 医薬品	: 3 億円	5.8倍	+ 2.5
	3. 通信機	: 6 億円	155.9 %	+ 1.9
減少	1. 半導体等電子部品	: 4 億円	42.8 %	▲ 5.4
	2. 音響・映像機器（含部品）	: 6 億円	61.8 %	▲ 3.4

(3) アメリカ

区分	金額	前年同月比	推移(対前年同月比)
輸出	165 億円	86.7 %	7カ月ぶりの減少
輸入	179 億円	91.1 %	2カ月連続の減少



【輸出】

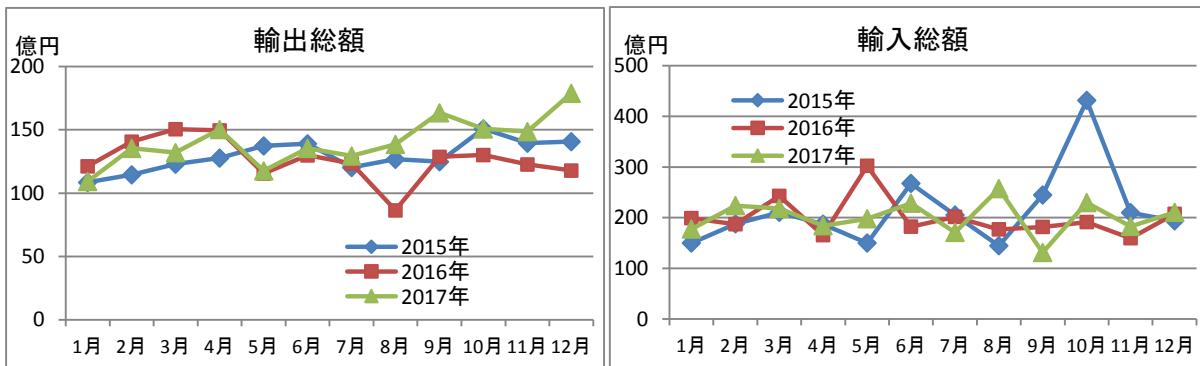
増減	品目	金額	前年同月比	寄与度
減少	1. 自動車の部分品	5 億円	39.5 %	▲ 4.3
	2. 金属製品	10 億円	86.7 %	▲ 0.8
	3. 重電気器	2 億円	54.0 %	▲ 0.7

【輸入】

増減	品目	金額	前年同月比	寄与度
減少	1. 通信機	2 億円	11.6 %	▲ 6.9
	2. 原動機	40 億円	84.7 %	▲ 3.7
	3. 電気計測機器	5 億円	45.5 %	▲ 3.2

(4) EU

区分	金額	前年同月比	推移(対前年同月比)
輸出	179 億円	151.6 %	9カ月連続の増加
輸入	211 億円	101.6 %	3カ月連続の増加



【輸出】

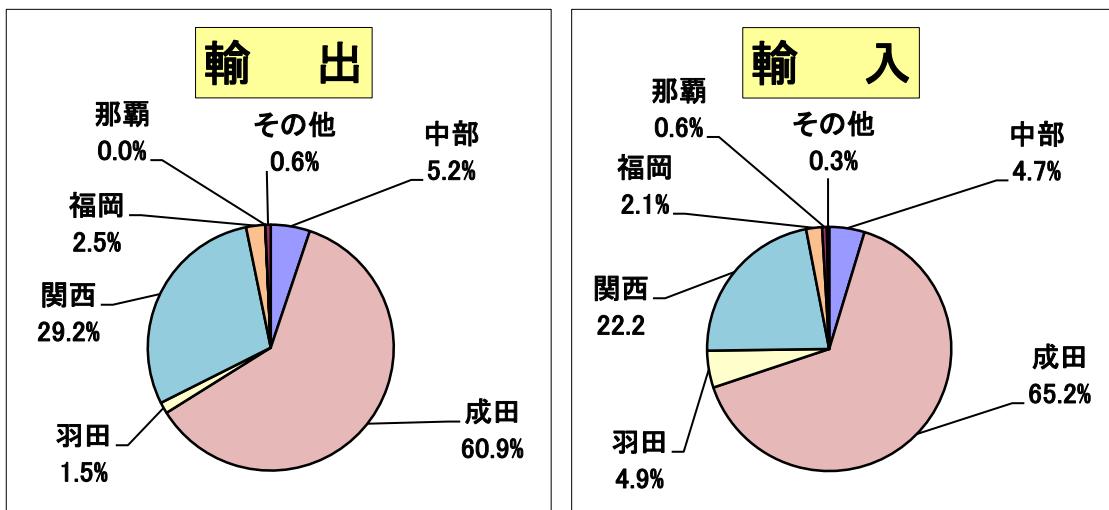
増減	品目	金額	前年同月比	寄与度
減少	1. 電池	19 百万円	5.4 %	▲ 2.9
	2. 原動機	11 億円	90.1 %	▲ 1.1

【輸入】

増減	品目	金額	前年同月比	寄与度
増加	1. 医薬品	112 億円	91.1 %	▲ 5.3
	2. 航空機類	5 億円	57.3 %	▲ 1.7

4. 全国主要空港との比較

空港	輸出			輸入		
	金額	前年同月比	全国比	金額	前年同月比	全国比
中部	871 億円	113.8 %	5.2 %	818 億円	110.5 %	4.7 %
成田	10,301 億円	109.9 %	60.9 %	11,408 億円	114.1 %	65.2 %
羽田	251 億円	62.1 %	1.5 %	856 億円	106.9 %	4.9 %
関西	4,934 億円	102.9 %	29.2 %	3,882 億円	132.1 %	22.2 %
福岡	423 億円	39.2 %	2.5 %	368 億円	85.2 %	2.1 %
那覇	3 億円	48.0 %	0.0 %	110 億円	11.7 倍	0.6 %



参考

★寄与度

個々の品目が輸出(入)総額の増減に対してどれだけ影響したかを示す指標です。

$$\text{寄与度} = \frac{\text{個々の品目の当月輸出(入)額} - \text{個々の品目の前年同月輸出(入)額}}{\text{前年同月の輸出(入)総額}} \times 100$$



この概況に関するお問い合わせは
中部空港税関支署 税関広報広聴官
または 通関総括第1部門にお願いします。

TEL 0569-38-7607(税関広報広聴官)
FAX 0569-38-7609
TEL 0569-38-7639(通関総括第1部門)
FAX 0569-38-7647